

< ご注意 >

1 級財務分析
解答用紙
(その1)

この解答は、株式会社建設経営サービス (KKS) が作成したもので、試験機関による正式な採点結果を保証するものではありません。あくまで解答例としてご利用ください。また、配点及び合格ラインもKKSの予想です。本解答例の著作権はKKSに帰属します。予告なく内容を変更する場合があります。

予想合格ライン70点

【第1問】 解答にあたっては、400字以内（句読点含む）で記入すること

	10	20	25
	なぜ財務分析において資金変動性の分析が必要なのかを		
	考えると、活動性分析や健全性分析では、相対的な比率		
	分析によって、目的の傾向を知ることができるが、それ		
	だけではその良否の原因を分析することはできないから		
5	である。例えば特定の勘定科目について、比較財務諸表		
	で連続する2期の実数値を示されても、そこから分かる		
	のは増減額と増減率だけであり、それだけでは、その変		
	化の原因と良否は判断できない。また、減価償却費や引		
	当金、準備金などは、有力な費用項目ではあるが現金の		
10	支出を伴わないので、単純な分析はできない。よって、		
	関係比率分析等の分析のほかに、あえて資金変動制の分		
	析を必要とするのである。近年は「資金計算書」、「資		
	金収支計算書」、「キャッシュフロー計算書」などの期		
	間報告書があり、特に「キャッシュフロー計算書」は貸		
15	借対照表、損益計算書と並び、第三の財務諸表として位		
	置付けられている。		

得点	
----	--

20点

1級財務分析
解答用紙
(その2)

氏 名		受験番号シール貼付欄
姓	姓をカタカナで記入してください。	受験票から受験番号シールをはがして、ここに貼り付けてください。
名	名をカタカナで記入してください。	シールがない方は下欄に自筆で受験番号を記入してください。

〔第2問〕

記号 (ア～ハ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エ	ネ	シ	ソ	ナ	ノ	キ	カ	ニ	ト

11	12	13	14	15
セ	オ	イ	ハ	サ

各1点

〔第3問〕

A

5	6	6	1	0
---	---	---	---	---

 百万円 (百万円未満を4捨5入)

B

1	9	0	0
---	---	---	---

 百万円 (同 上)

各3点

C

1	5	3	0
---	---	---	---

 百万円 (同 上)

D

8	1	6
---	---	---

 百万円 (同 上)

損益分岐点比率

6	4	9	9
---	---	---	---

 % (小数点第3位を4捨5入し、第2位まで記入)

〔第4問〕

問1 ￥

5	4	9	8	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 (円未満を4捨5入)

問2

3	6	0
---	---	---

 % (小数点第2位を4捨5入し、第1位まで記入)

各5点

問3

1	7	5
---	---	---

 % (同 上)

問4

1	5	5
---	---	---

 % (同 上)

〔第5問〕

問1

A 総資本事業利益率

	3	1	1
	.		

 % (小数点第3位を4捨5入し、第2位まで記入)

B 経営資本営業利益率

	4	1	4
	.		

 % (同上)

C 完成工事高キャッシュ・フロー率

	1	4	9
	.		

 % (同上)

D 当座比率

	7	4	0	7
		.		

 % (同上) **別解** 40.66%

E 流動負債比率

1	6	6	4	8
		.		

 % (同上) **別解** 303.30%

各2点

F 必要運転資金月商倍率

	0	1	0
		.	

 月 (同上)

G 有利子負債月商倍率

	1	7	3
		.	

 月 (同上)

H 支払勘定回転率

	3	8	7
		.	

 回 (同上)

I 労働装備率

	1	0
--	---	---

 百万円 (百万円未満を切り捨て)

J 立替工事高比率

	1	9	9	0
		.		

 % (小数点第3位を4捨5入し、第2位まで記入)

問2

記号 (ア～ハ)

(1)

1	2	3	4	5
へ	オ	ソ	ネ	イ

各1点

(2)

6	7	8	9	10
ニ	チ	ク	ハ	カ

各1点